

衆議院環境委員会ニュース

平成 21.4.14 第 171 回国会第 8 号

4 月 14 日（火）第 8 回の委員会が開かれました。

- 1 自然公園法及び自然環境保全法の一部を改正する法律案（内閣提出第 60 号）
 - ・斉藤環境大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成 - 自民、民主、公明、江田憲司君（無））
 - ・北川知克君外 2 名（自民、民主、公明）から提出された附帯決議案について、田島一成君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
（賛成 - 自民、民主、公明、江田憲司君（無））

（質疑者及び主な質疑内容）

田 島 一 成 君（民主）

- ・西表石垣国立公園の白保海中公園地区におけるシュノーケル観光によるサンゴ破損等の生態系破壊の防止に向けた人員体制整備等の取組方針を伺いたい。
- ・建設着工準備中の上関原子力発電所（山口県）について、環境省による環境影響評価の終了後に絶滅危惧種の生物の生息が新たに確認される等、同建設を取り巻く事情が変更している状況を踏まえた環境省の現在の対応方針を伺いたい。
- ・改正案の立案に当たっては、改正部分だけでなく、その法律全体を見渡し時代に相応しい表現に修正する等、全体のバランスを確保することが必要であると考えているが、大臣の所見を伺いたい。

伴 野 豊 君（民主）

- ・昨年成立した生物多様性基本法の下位に位置付けられる自然公園法等の個別法は、生物多様性の保全等を図るための手段であることから、その法文上の表現等も含め、帰納的な改正ではなく、上位法である基本法の考えに合致した演繹的な改正を図っていく必要があると考えるが、大臣の所見を伺いたい。
- ・沖縄県のやんばる地域は、優れた自然の風景地ではないため自然公園に指定されていないが、ヤンバルクイナ等の絶滅危惧種が生息しており、今後保護を進めていく必要がある。このような地域の自然公園への指定等に向けた自然科学的調査のための予算の確保についての大臣の所見を伺いたい。
- ・生物多様性条約第 10 回締約国会議（C O P 10）の成功に向けた大臣の決意を伺いたい。